



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 21LADY株式会社 上場取引所名  
 コード番号 3346 URL <http://www.21lady.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 道子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 善裕 TEL 03(3556)2121  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	677	△15.9	△37	—	△38	—	△40	—
23年3月期第1四半期	804	—	△68	—	△77	—	△127	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △45百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △141百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△1,017 54	—
23年3月期第1四半期	△3,130 15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,227	216	14.8
23年3月期	1,239	262	18.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 182百万円 23年3月期 223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	1.0	10	—	5	—	0	—	0 00
通期	3,100	4.5	24	—	14	—	0	—	0 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 ( )、除外 — 社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	43,947株	23年3月期	43,947株
24年3月期1Q	4,685株	23年3月期	4,685株
24年3月期1Q	39,657株	23年3月期1Q	40,575株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被害とその後の電力不足等により、消費の自粛など国内景気は大きな影響を受けましたが、企業の生産活動や個人消費には回復の動きが見られるようになりました。

このような環境の下、当社グループにおきましては、選択と集中による既存直営店強化、商品構成の見直し、人材育成による販売力強化等に取り組みました。ヒロタ・イルムス両事業において経営改善計画の達成を目指し取り組んだ結果、ヒロタ事業において黒字化を実現いたしました。

セグメント別には、次のとおりであります。

## ヒロタ事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、イタリアのブランド企業と組み、食とファッションの融合にチャレンジしたコラボレーション新商品を発売いたしました。また、ディスカバージャパンの取り組みを強化いたしました。

ホールセール部門におきましては、継続的な営業努力により、首都圏を中心としたチェーンストアとの取引を拡大することができました。

なお、第1四半期連結累計期間末の直営店舗数は、42店舗となりました。

この結果、売上高428,853千円（前年同期比△6.9%）、営業利益6,587千円（前年同期比△32.1%）となりました。

## イルムス事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、二子玉川店、越谷アウトレット店をオープンし、2店舗とも順調に収益を確保しております。また、既存直営店の強化及び利益構造の改善、会員メンバーの拡大とサービス向上に努めてまいりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末の直営店舗数は8店舗となりました。

この結果、売上高248,160千円（前年同期比△27.7%）となりましたが、新規直営店舗出店費用及び3月の東日本大震災の影響等による一時的な消費の落ち込みにより、営業損失23,496千円（前年同期50,367千円の営業損失）となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間は、売上高677,109千円（前年同期比△15.9%）、営業損失37,092千円（前年同期68,144千円の営業損失）、経常損失38,088千円（前年同期77,951千円の経常損失）、四半期純損失は40,352千円（前年同期127,004千円の四半期純損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,264千円減少し、1,227,746千円となりました。これは主に、流動資産が6,385千円増加、固定資産が17,649千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ34,217千円増加し、1,010,960千円となりました。これは主に、流動負債において一年以内返済予定の長期借入金が21,060千円減少したものの、買掛金が27,985千円、未払費用が14,322千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ45,482千円減少し、216,785千円となりました。これは主に、株主資本において利益剰余金が40,352千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当第 1 四半期連結累計期間において売上高677,109千円、営業損失37,092千円を計上しておりますが、ヒロタ、イルムス両事業において経営改善計画を推進した結果、前年同期と比較して営業損失が31,052千円改善しております。

当社グループは、更なる改善を図るために以下の施策について全力を挙げて取り組んでおります。

ヒロタ事業におきましては、主力商品オリジナルシュークリーム・シューアイスにおける「ディスカバージャパン」を含む新商品の開発に積極的に取り組み、「ブランド価値の向上」を目標に「直営店強化」を図っております。また、ホールセール部門におきましても、販売先の更なる拡大を進めてまいります。

イルムス事業におきましては、「選択と集中による直営店強化」「接客サービスの向上」に組み、新規顧客の獲得及び既存顧客のリピート率の向上に努めております。また、最も効率的な標準店舗を確立・追求することにより、利益構造の改善を進めてまいります。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	293,396	222,164
売掛金	180,851	227,962
商品及び製品	140,025	165,369
仕掛品	1,431	1,971
原材料及び貯蔵品	23,097	26,932
その他	19,524	20,832
貸倒引当金	△1,900	△2,420
流動資産合計	656,427	662,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	208,490	209,600
土地	79,937	79,937
その他	118,479	109,402
有形固定資産合計	406,907	398,940
無形固定資産		
無形固定資産	37,718	29,822
投資その他の資産		
投資有価証券	37,788	36,232
その他	105,419	104,987
貸倒引当金	△5,250	△5,050
投資その他の資産合計	137,957	136,170
固定資産合計	582,583	564,933
資産合計	1,239,011	1,227,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	165,299	193,284
短期借入金	51,600	49,676
1年内返済予定の長期借入金	45,902	24,842
未払法人税等	13,687	15,976
未払金	278,993	278,784
未払費用	77,005	91,328
資産除去債務	1,137	1,138
その他	57,091	63,669
流動負債合計	690,715	718,701
固定負債		
長期借入金	61,027	67,387
負ののれん	852	461
長期末払金	114,676	112,426
資産除去債務	19,834	26,797
その他	89,637	85,187
固定負債合計	286,027	292,259
負債合計	976,743	1,010,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	493,387	493,387
利益剰余金	△268,658	△309,010
自己株式	△102,420	△102,420
株主資本合計	222,308	181,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	757	290
その他の包括利益累計額合計	757	290
少数株主持分	39,201	34,538
純資産合計	262,267	216,785
負債純資産合計	1,239,011	1,227,746

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	804,728	677,109
売上原価	420,834	335,429
売上総利益	383,894	341,679
販売費及び一般管理費	452,038	378,772
営業損失 (△)	△68,144	△37,092
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	700	575
負ののれん償却額	390	390
その他	1,291	144
営業外収益合計	2,389	1,112
営業外費用		
支払利息	4,822	2,069
株式交付費	6,944	—
その他	430	38
営業外費用合計	12,196	2,108
経常損失 (△)	△77,951	△38,088
特別利益		
投資有価証券売却益	9,985	—
貸倒引当金戻入額	360	—
その他	2,162	—
特別利益合計	12,507	—
特別損失		
災害による損失	—	712
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67,821	—
投資有価証券売却損	—	189
店舗閉鎖損失	707	—
その他	3,956	—
特別損失合計	72,484	902
税金等調整前四半期純損失 (△)	△137,929	△38,991
法人税、住民税及び事業税	3,414	3,239
法人税等調整額	2,089	2,784
法人税等合計	5,504	6,024
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△143,434	△45,015
少数株主損失 (△)	△16,430	△4,662
四半期純損失 (△)	△127,004	△40,352



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△143,434	△45,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,874	△466
その他の包括利益合計	1,874	△466
四半期包括利益	△141,560	△45,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△125,129	△40,819
少数株主に係る四半期包括利益	△16,430	△4,662

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	460,640	343,395	804,035	692	804,728	—	804,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	460,640	343,395	804,035	692	804,728	—	804,728
セグメント利益又は損失 (△)	9,695	△50,367	△40,672	692	△39,979	△28,165	△68,144

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△28,165千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である提出会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	428,853	248,160	677,014	95	677,109	—	677,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	428,853	248,160	677,014	95	677,109	—	677,109
セグメント利益又は損失 (△)	6,587	△23,496	△16,909	95	△16,814	△20,278	△37,092

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△20,278千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である提出会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。